



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム札幌福井園建設工事	階数	地上3F
建設地	札幌市西区福井10丁目401番6、他	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	130 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2021年4月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	4,360 m ²	評価の実施日	2021年3月10日
建築面積	1,707 m ²	作成者	
延床面積	5,001 m ²	確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★ B+

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 85% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記②以外のオンサイト手法 85%

④上記+オフサイト手法 85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価
 建物全体の[BEI][BEIm]= 0.82

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合 建物の高さを10m以下した、また隣接より出来る限り建物位置をはなす計画にした。北側に駐車場を設け日影の影響を考慮いたしました。	A 省エネルギー BEI値を0.82となる省エネルギー計算をいたしました。各項目は全て基準値より設計値が低い
B 省資源等 可能な限り省エネの機器の採用をした	C 緑化 札幌市の緑の保全と創出に関する条例の届出を提出
	D 雪処理 堆雪スペースを設ける

4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-	BELS認証	-	LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 (仮称)特別養老ホーム札幌福井園建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							3.1	
Q1 室内環境				0.40	-		3.1	
1 音環境			3.8	0.15	3.8	1.00	3.8	
1.1 室内騒音レベル		入居室間は遮音対策をしている。	5.0	0.40	5.0	0.40		
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		居室部分を二重サッシとしている(内部樹脂サッシ ペアガラス、外部アルミサッシ単板)	3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		コンクリート又は遮音対策をしている。	3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境			3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温		24度の設定にて計画	3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能	省エネ	基準値以下とした	3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境			2.8	0.25	2.8	1.00	2.8	
3.1 昼光利用			2.4	0.30	2.4	0.30		
1 昼光率			2.0	0.60	2.0	0.60		
2 方位別開口		南、東の両面に窓があります。		-	5.0	-		
3 昼光利用設備	省エネ	基準値以下とした	3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御	省エネ	基準値以下とした	3.0	1.00	3.0	1.00		
2 映り込み対策				-		-		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境			3.3	0.25	4.0	1.00	3.3	
4.1 発生源対策			5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		内装材は全てF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気			2.0	0.30	2.3	0.38		
1 換気量			1.0	0.50	1.0	0.33		
2 自然換気性能			3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			1.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視			1.0	-		-		
2 喫煙の制御			1.0	1.00		-		

Q2 サービス性能			0.30	-	-	3.2	
1 機能性			4.3	0.40	3.2	1.00	4.3
1.1 機能性・使いやすさ			4.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		生活に見合った広さとしている。	3.0	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			2.0	-	0	-	
3 バリアフリー計画		全て段差をなくしている。	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			4.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)			1.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			2.0	-		-	
3 内装計画		圧迫感を感じないように配色に考慮した。	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理			5.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		内装材及び外装材は維持管理をしやすい材料にしている、動線も管理しやすい設計としている。	5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		各階にトイレ清掃用SKを設置、ゴミ置場を設置し搬出も容易である、また物品庫を1階に多数設置している。	5.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.9	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	更新必要間隔を15年とした。	4.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	省資源		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性			3.6	0.20		-	
1 空調・換気設備		換気は系統分けし、空調も系統分けとしている。	5.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		出来る限り節水器具を採用している。また災害時(ブラックアウト)の場合受水槽が使用出来ない場合の直圧の蛇口を設置している。	4.0	0.20		-	
3 電気設備			3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			2.0	0.30	1.5	1.00	2.0
3.1 空間のゆとり			1.0	0.30	1.0	0.50	
1 階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			1.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40		-	
1 空調配管の更新性			2.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出	緑化		3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		敷地の周囲にフェンスを設置	3.5	0.30		-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	敷地の周囲にフェンスを設置、敷地内に雪の堆積場を設置	5.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI値 0.72	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.82 -	2.9	0.50		-	2.9
4 効率的運用			2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	省エネ		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	省エネ			-		-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.1	0.60		-	2.1
2.1 材料使用量の削減	省資源		3.0	0.17		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		-	-		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	-	-		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.33		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.17		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.33		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			5.0	0.20	-	-	5.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	内装材は全て☆☆☆☆を使用している。	5.0	1.00	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		-	-	-	-	
1	消火剤	省資源	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	-	-	-	-	
3	冷媒	省資源	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	省エネに努めた(BEI=0.82)	3.6	0.33	-	-	3.6
2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
2.1	大気汚染防止	省資源	1.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	省資源 悪化 軽減	3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		4.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源 雨水排水の抑制をした	3.0	0.33	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	下水へ放流	-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	敷地内に適切な駐車スペースを確保。	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 資源 処理 ゴミの種類別に置場を設置、また雪の堆積場を確保。	5.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.67	-	-	
1	風害の抑制		-	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	北側を隣地より離れた	3.0	1.00	-	-	
3.3	光害の抑制		4.0	0.33	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	外部照明は隣接側に向けない様に設計、屋内照明はカーテン及びブラインドにて外部に漏れない様に考慮。	4.0	1.00	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	-	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	1.1	BEEランク	B+
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム札幌福井園建設工事				
建物用途	病院.				
延床面積	5,000.6 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★★★★	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー (最高点 23.1 最低点 6.6)		合計 14.5点 /23.1点			
Q1 温熱環境	スコア 0.6 /1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0 /4.0		
Q1 光・視環境	スコア 1.3 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 /2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 5.8 /10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 1.6 /4.0		
B 省資源等 (最高点 22.0 最低点 6.3)		合計 11.5点 /22.0点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.0 /9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 0.0 /0.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.6 /5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.4 /4.6		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計 8.7点 /15.3点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.7 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.5 /2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.6 /6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 3.0点 /3.0点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0 /2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高**点は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低**点は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数